

京都花山天文台の将来を考える会 令和6年度総会

日時：令和6年6月16日（日）13時10分～13時50分

場所：京都大学理学部4号館

（インターネット使った会議システム）

議事

1. 令和5年度事業報告
2. 令和6年度事業計画
3. 会員規則の改訂（法人賛助会員制度の新設）

以上

令和5年度 事業報告

(令和5年(2023年)4月1日 ～ 令和6年(2024年)3月31日)

I. 概況

事業活動の足枷となっていた新型コロナ感染対策は5類移行を受け、令和5年5月ごろから活動への制限が撤廃されてきた。

金曜天文講話、宇宙天気基礎講座、講演会などのイベントは引き続きオンラインを活用している。オンラインであるため参加者の地理的な広がりが見られ、参加者数の確保に有効となっている。また宇宙天気基礎講座の参加者は昨年度より減少しているが、今後発展していく分野であり、当財団の特徴を生かせる活動となってきた。

土日公開はコロナ感染対策としての見学人数制限が緩和されたが、参加者の確保に腐心する状況が続いている。京都市観光協会への加盟など広報活動に力を入れる方策を検討したが、京阪バスの天文台を経由する路線が廃止となる事態に直面した。収益を維持するため限られた人的資源で運用できるように要員や回数を工夫しつつ運営している。

また花山天文台応援コンサートは屋外での有観客方式としては5年振りの開催となった。喜多郎氏の協力のお陰で10年以上続いたイベントであったが、今年度のコンサートを持って一旦の区切りとなり、多数の参加者を得て盛大に開催することができた。

多田野奨学会の協賛を得、香川県で初めてのイベントとして宇宙落語会と観望会を開催、香川県内の小中高生を無料で招待し盛り上がりを見た。

一方、京都大学天文台基金には計上費用の予算を若干上回る額を寄付した。この費用は花山天文台におけるアウトリーチ活動に活用されていく。

施策面では財団の財政基盤を強化していくため、会員規則の改訂を行い、法人賛助会員制度を創設した。令和6年度以降も会員の獲得に努めていく。

II. 実施事業の概要

1. 講演会

参加協力費：会員：無料、一般：1000円

1) 「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせて開催

開催日 令和5年6月25日 参加者 約40名

会場 オンライン開催

講演テーマ 「惑星の磁場を測る話」

講演者 松岡彩子氏(京都大学理学部附属地磁気世界資料解析センター 教授)

2) 「参与会」に合わせて開催

開催日 令和5年11月5日 参加者 約50名
 会場 オンライン開催
 講演テーマ 「X線天文学者がシチズンサイエンスで挑む雷の謎」
 講演者 榎戸輝揚氏(京都大学理学部物理学第2教室 准教授)

2. **金曜天文講話**

オンラインで16回開催した。

回	開催日	講演テーマ	講師	参加者 /申込件数
第1回	5月12日	赤外線で見える天の川銀河の真ん中	長田 哲也	43名/54件
第2回	5月26日	太陽活動と地球	浅井 歩	33名/40件
第3回	6月9日	新・太陽系形成論	佐々木 貴教	53名/62件
第4回	6月23日	宇宙望遠鏡いろいろ	岩室 史英	41名/58件
第5回	7月7日	アルマ望遠鏡で探る超新星からの電波放射	前田 啓一	43名/52件
第6回	7月21日	宇宙での距離の測り方	野上 大作	43名/55件
第7回	8月4日	アインシュタインの夢：重力の謎とひも理論	杉本 茂樹	53名/70件
第8回	8月25日	花山天文台と太陽系観測のあゆみ -ブライアン・メイ博士の訪問をめぐる歴史秘話-	柴田 一成	69名/89件
第9回	10月13日	宇宙の観測400年の歴史と京大岡山 せいめい望遠鏡で見える世界	長田 哲也	29名/42件
第10回	10月27日	大気のない天体表面で起きていること：宇宙風化とは？	野口 高明	41名/51件
第11回	11月10日	太陽観測の最前線～最新の太陽観測からわかること～	一本 潔	31名/42件
第12回	11月24日	科学的宇宙観の変遷	太田 耕司	32名/50件
第13回	12月8日	宇宙論の現在と未来	田中 貴浩	36名/55件
第14回	12月22日	X線観測で探る超大質量ブラックホール の謎	上田 佳宏	35名/48件

第 15 回	1 月 12 日	忽論為差儀二者無之存候一古の夜空 に人々は何を思う	玉澤 春史	51 名/58 件
第 16 回	1 月 26 日	明月記はいかに世界の天文学に影響 したか	柴田 一成	38 名/48 件

参加協力費：1000 円/回

3. 刊行物

会報第 12 号 発行日 令和 5 年 4 月 20 日 部 数 1000 部

会報第 13 号 発行日 令和 6 年 3 月 31 日 部 数 1000 部

4. 花山天文台土日公開

4 月から継続して土日公開と観望会を実施している。高校生の見学や「まいまい京都」などの団体利用を含めて、年間で約 1000 名の方が来訪した。

土日公開

実施期間：2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで計 81 日。（一部、土日以外にも実施）

参加人数：のべ 852 名（本館のみの見学者も含む）

内容；土曜日（太陽スペクトル観望コース、8 月末より、1 日 2 回に変更）

326 名/31 日 大人 2,000 円、小中高生 1,000 円

日曜日（4 次元デジタル宇宙シアター上映コース、1 日 2 回）

282 名/40 日（職員のみで実施） 大人 1,500 円、小中高生 800 円

その他、高校生の見学や「まいまい京都」ほかの団体利用 244 名/10 日

<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/open/kwasan/donichi.html>

観望会

実施期間：4 月 1 日、4 月 29 日、5 月 20 日、6 月 24 日、7 月 15 日、
8 月 26 日、9 月 11 日、9 月 16 日、10 月 14 日、11 月 4 日、
11 月 18 日、12 月 16 日、3 月 16 日（のべ 13 日）

参加人数：のべ 180 名

大人 3,300 円、高大 1,800 円、小中 500 円（寄附者は招待）

<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/open/kwasan/hosizora.html>

5. 宇宙天気基礎講座

昨年度からスタートした本講座は、本年もオンラインで入門編 5 回、応用編 3 回を開催し、新規に 5 月と 8 月に実習を花山天文台で開催した。本講座を通じて花山天文台の成果や宇宙天気研究の現状を知って頂き、花山天文台の教育普及活動への支援の輪を広げた。

<http://kwasan.kyoto/uchutenki2023.html>

入門編 基礎から学べる宇宙天気 (5 回連続講座)

参加費：10,000 円(継続 8,000 円) 木曜 15:00~17:00

応用編 宇宙天気災害と宇宙天気予報 (3 回連続講座)

参加費：6,000 円(継続 5,000 円) 木曜, 日曜(第 3 回)15:00~17:00

実習 2 回開催(5 月 13 日、8 月 5 日) 参加費：10,000 円

場所：花山天文台 講師：柴田一成、石井貴子

定員 10 名 (参加者数：5/13 10 名、8/5 6 名)

	回	開催日	講演テーマ	講師	申込件数
基礎編 (基礎から 学べる宇宙 天気)	第 1 回	4 月 27 日	宇宙天気による「災害」の種類、 社会への影響・生物への影響	柴田一成	66 件 (内、継 続 21 件)
	第 2 回	5 月 25 日	宇宙災害の要因／太陽の活動 (1)	柴田一成	
	第 3 回	6 月 22 日	宇宙災害の要因／太陽の活動 (2)	柴田一成	
	第 4 回	7 月 27 日	宇宙災害の要因／磁気圏の活動	小原隆博	
	第 5 回	8 月 24 日	宇宙災害の要因／電離圏の活動	小原隆博	
応用編 (宇宙天気 災害と宇宙 天気予報)	第 1 回	9 月 28 日	宇宙天気災害の実例	小原隆博	36 件 (内、継 続 17 件)
	第 2 回	10 月 26 日	宇宙天気予報の最新動向	小原隆博	
	第 3 回	11 月 26 日	今後の展望	斉田季実治 柴田一成	

6. ファンドレイジング

ファンドレイジングの専門家(石井大輔氏)を交え月1回程度の頻度で会議を開催。

- ・HP改良の検討。
- ・法人賛助会員の検討。

7. 花山天文台応援・喜多郎野外コンサート

これまでの活動を集大成した野外コンサートを開催した。屋外でかつ有観客方式のコンサートとしては5年振りとなる。これまでの応援への感謝を込め、コロナ禍で受けていた制約からの解放、花山天文台と宇宙を音と映像で繋ぐ世界への誘いを皆さんに感じて頂ける盛大なコンサートとなった。

開催日：令和5年9月30日 19時開演

会場：京都大学 花山天文台

共催：京都大学大学院理学研究科附属天文台、一般財団法人花山宇宙文化財団

協力：認定NPO法人花山星空ネットワーク、DIAA / DOMO Record

後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会

出演者：喜多郎、岡野弘幹、鹿嶋静、祝丸

参加協力費：3,500円

参加者数：約300名（うち招待約70名）

<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/education/music2023/>

8. 宇宙落語会 in うどん県

一般財団法人多田野奨学金の協賛を得、香川県で初めてのイベントとして宇宙落語会と観望会を開催、香川県内の小中高生を無料で招待した。

開催日：令和5年9月17日 13:30~20:00

会場：源内音楽ホール（宇宙落語会、香川県さぬき市）

テアトロン（星空観賞会、香川県さぬき市）

主催：一般財団法人花山宇宙文化財団

後援：さぬき市、香川県教育委員会、さぬき市教育委員会

協賛：一般財団法人多田野奨学会、株式会社ヒーローほか

協力：一般社団法人天体望遠鏡博物館、宇宙落語制作委員会、
星空プロジェクト株式会社

出演者：桂福丸(宇宙落語)、旭堂小南陵(講談)、柴田一成、村山昇作(講演、トーク)

参加費：1000円（小中高生は無料）

参加者数：約90名（宇宙落語会）

<https://sys.tadano.co.jp/shogakukai/2023/678/>

9. 天文台グッズの販売

1) 直接販売

土日公開での対面販売が主体。

2) 委託販売

下記法人との委託販売契約を更新し、引き続き委託販売を依頼している。
京都大学生協同組合には委託販売の検討を依頼中。

- ① 学校法人京都精華大学・京都国際マンガミュージアム
- ② (株) アクティブケイ・京都大学博物館ショップ“ミュゼップ”

III. 会議・会合

1. 評議員会・理事会

1) 令和5年度第1回理事会：令和5年6月1日

第1号議案：令和4年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：令和5年度定時評議員会を招集する件

第3号議案：“宇宙落語会と天体観望会 in うどん県さぬき 2023”を主催する件
報告1 職務執行状況報告（令和5年度第1回）

2) 令和5年度定時評議員会：令和5年6月15日

第1号議案：令和4年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：理事・監事の選任について

第3号議案：評議員の選任について

報告1 令和4年度第2回、第3回理事会、令和5年度第1回理事会

3) 令和5年度臨時理事会：令和5年6月15日

第1号議案：理事長（代表理事）の選定に関する件

第2号議案：常務理事（業務執行理事）の選定に関する件

第3号議案：事務局長の任命に関する件

4) 令和5年度第2回理事会：令和5年12月15日

報告1 事業報告（令和5年度中間報告）

報告2-1 大阪・関西万博きょうと推進委員会認証制度への申請

報告2-2 Arts Aid KYOTO ～京都市連携・協働型文化芸術支援制度～「事業認定型」への申請

報告3 職務執行状況報告（令和5年度第2回）

報告4 法人賛助会員の検討

5) 令和5年度第3回理事会：令和6年3月28日

第1号議案：令和6年度事業計画・予算

第2号議案：会員規則の改訂

報告1 京都市観光協会への加入と情報発信

報告2 職務執行状況報告（令和5年度第3回）

報告3 「読売新聞 2024年1月27日夕刊の花山天文台に関する記事」「建築 CASA-
BRUTUS2024年4月号の京都モダン建築」の紹介

2. 京都花山天文台の将来を考える会総会：令和5年6月25日

議題1 令和4年度事業報告

議題2 令和5年度事業計画

3. 令和5年度参与会：令和5年11月5日

議題1 令和4年度事業報告・決算書

議題2 令和5年度事業計画・予算書

以上

令和6年度事業計画

令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日

I. 基本方針

昨年5月に新型コロナが5類感染症に移行した後は、事業活動の自由度が増してきたが、長期のコロナ禍による環境変化の影響は未だに色濃く残っている。

京都大学大学院理学研究科附属天文台の社会貢献活動と連携しつつ、児童・生徒・地域住民に加え、世界からの観光客が自由に訪れることができる花山天文台を目指し、会員の拡大を図りつつ事業活動を進めていきたい。

短期的目標 (1～3年)

- (1) 小中高校見学・実習を毎日受け入れ可能な体制を実現する。
- (2) 天体観望会や講演会、勉強会やワークショップ、芸術・文化系イベントを開催する。
- (3) 海外からを含む観光客を引きつける新たな魅力となる。
- (4) 上記を達成するため100人収容可能な講演室と資料室を建設する。

長期的目標 (4～10年)

- (1) 4次元デジタル宇宙シアターやプラネタリウムの投影ができる宇宙科学館の設置を目指す。
- (2) 花山天文台の文化とも融合できるような、先端的ものづくりをテーマにしたインキュベーションセンターを設置し、オープンラボとする。
- (3) 星空観察会や野外コンサートなどの各種イベントが開催できる多目的広場を設置し、教育啓発活動を行う。

II. 事業計画

1) 会議・講演会

- ① 定例の評議員会を6月に開催する。会議の形態は、実会議とWeb会議を組み合わせたハイブリッド方式にて行う。
- ② 定例の理事会を5月、12月、3月に開催する。評議員会と同様ハイブリッド方式にて行う。
- ③ 臨時の評議員会・理事会は必要に応じて開催する。
- ④ 参与会を秋ごろに天文台イベントに合わせて開催する。
- ⑤ 「花山天文台の将来を考える会」総会を6月に行い、併せて講演会を開催する。オンライン方式にて行う。

2) 金曜天文講話

最新の天文学を一般の人を対象に分かり易く講義し、オンライン方式となつてからは参加者の地域も広がってきた。

5月から来年1月まで、16回の開催を計画、京都大学理学研究科附属天文台ならびに宇宙物理学教室に協力許可を得ている。

前期：8回（5月～8月）

後期：8回（10月～1月）

場所：オンライン開催方式

3) 刊行物

京都花山天文台の将来を考える会の会報として既に13回発行したが、同じ体裁で年2回の編集・発行を行い、情報発信に努める。

発行時期 4月、10月

内容 A4判、カラー、16～20頁、1000部程度

4) 花山天文台見学会

昼の公開については、土曜と日曜、それぞれ月2～3回の頻度で実施する。

昨年度までと同様の申込制のコースに加えて、土曜については、予約不要のコースも設定する。団体利用なども積極的に受け入れる。

また、月に1回、土曜日の夜に星空観望会を実施する。

5) 宇宙天気基礎講座

「宇宙天気予報」の重要性が認識された機会を捉え2022年度に初開催した。

2024年度は9回の講義と2回程度の実習(土日公開を活用)を計画する。京都大学理学研究科附属天文台の協力のもと開催。

基礎編講義：5回（4月～8月）（オンライン）

応用編講義：4回（9月～12月）（オンライン）

実習編：2回(5月18日、8月3日)(花山天文台)

6) 宇宙落語会 in うどん県

2023年9月に香川県さぬき市で開催、好評を得た「宇宙落語会 in うどん県」を再度開催する。一般財団法人多田野奨学会の協賛のもと、宇宙落語制作委員会の協力により運営する。

開催日：7月26日(予定)、場所：香川県さぬき市

12月に京都で開催予定の宇宙落語会については、協力という形で参画する。

7) 天文台グッズの販売

収益事業の一環と位置付けて天文台グッズ販売を継続する。

委託販売は(株)アクティブケイ(京都大学博物館ショップ)、学校法人京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)と契約。京都大学生生活協同組合・時計台ショップとは委託検討中。

以上

改訂箇所を赤字で表示

会員規則

- 第1条 この規則は、一般財団法人花山宇宙文化財団定款第40条第3項の規定に基づき、会員に関し必要な事項を定める。
- 第2条 会の名称は、京都花山天文台の将来を考える会（以下本会という。）とする。
- 第3条 本会は、一般財団法人花山宇宙文化財団の様々な事業を支援することを目的とし、具体的には、将来構想の策定支援、花山天文台における見学会・観望会支援、講演会や会員親睦会などの開催を行う。
- 第4条 会員とは、前項の目的に賛同してこの規則を承諾し、事務局の承認を受けた上で、会費を納入する者をいう。当会の会員は、次の2 4種とする。
- (1) 一般会員：当会の目的に賛同して入会する個人
 - (2) 賛助会員：当会の目的に賛同して、当会を支援する個人及び団体
 - (3) 法人賛助会員：当会の目的に賛同して、当会を支援する法人
 - (4) 名誉会員：当会の目的に賛同して、当会に特別な支援をいただいた個人及び団体
- 第5条 年会費は、一般会員一口3,000円以上、賛助会員一口30,000円以上、法人賛助会員一口50,000円以上とする。名誉会員は、会費の納入を要しない。
- 2 納入された年会費は返金しない。
 - 3 年会費の有効期限は入会から翌年の3月31日までとし、有効期限の3か月前から3か月後まで更新を受け付ける。
 - 4 年度途中の入会者に対しては、当該年度の会報を送付する。
- 第6条 会員は別紙に定める特典を有する。
- 第7条 一般財団法人花山宇宙文化財団の会計年度終了後 3ヶ月を目処に会員総会を開き、事業報告を行う。
- 第8条 会員は、郵便物送付先等登録情報に変更が生じた場合には、すみやかに事務局に届け出る。
- 第9条 会員は、申告によりいつでも退会できる。また会員費の有効期限が過ぎた場合は退会したものとみなす。
- 第10条 この規則の施行に必要な事項は、理事長が別に定める。
- 第11条 この規則の改廃は、理事会の決議を経て行う。
- 2 規則を変更する場合は、更新時に会員に通知する。

附則 この規則は平成6年4月1日から施行する。

制定 平成31年4月17日 理事会

改定 令和6年3月28日 理事会

会員規則

- 第1条 この規則は、一般財団法人花山宇宙文化財団定款第40条第3項の規定に基づき、会員に関し必要な事項を定める。
- 第2条 会の名称は、京都花山天文台の将来を考える会（以下本会という。）とする。
- 第3条 本会は、一般財団法人花山宇宙文化財団の様々な事業を支援することを目的とし、具体的には、将来構想の策定支援、花山天文台における見学会・観望会支援、講演会や会員親睦会などの開催を行う。
- 第4条 会員とは、前項の目的に賛同してこの規則を承諾し、事務局の承認を受けた上で、会費を納入する者をいう。当会の会員は、次の4種とする。
- (1) 一般会員：当会の目的に賛同して入会する個人
 - (2) 賛助会員：当会の目的に賛同して、当会を支援する個人
 - (3) 法人賛助会員：当会の目的に賛同して、当会を支援する法人
 - (4) 名誉会員：当会の目的に賛同して、当会に特別な支援をいただいた個人及び団体
- 第5条 年会費は、一般会員一口3,000円以上、賛助会員一口30,000円以上、法人賛助会員一口50,000円以上とする。名誉会員は、会費の納入を要しない。
- 2 納入された年会費は返金しない。
 - 3 年会費の有効期限は入会から翌年の3月31日までとし、有効期限の3か月前から3か月後まで更新を受け付ける。
 - 4 年度途中の入会者に対しては、当該年度の会報を送付する。
- 第6条 会員は別紙に定める特典を有する。
- 第7条 一般財団法人花山宇宙文化財団の会計年度終了後 3ヶ月を目処に会員総会を開き、事業報告を行う。
- 第8条 会員は、郵便物送付先等登録情報に変更が生じた場合には、すみやかに事務局に届け出る。
- 第9条 会員は、申告によりいつでも退会できる。また会費の有効期限が過ぎた場合は退会したものとみなす。
- 第10条 この規則の施行に必要な事項は、理事長が別に定める。
- 第11条 この規則の改廃は、理事会の決議を経て行う。
- 2 規則を変更する場合は、更新時に会員に通知する。

附則 この規則は令和6年4月1日から施行する。

制定 平成31年4月17日 理事会

改定 令和6年3月28日 理事会

一般会員、賛助会員、名誉会員 特典

名称		一般	一般	賛助	賛助	名誉
年会費		3,000円 (1口)	6,000円～ (2口以上)	3万円 (1口)	6万円～ (2口以上)	不要
イベント参加 (年間のべ人数)	講演会	2	2	2	2	2
	土日公開 金曜天文講話	0	0	3	5	5
	星空観望会 宇宙落語会	0	1	2	3	3 団体利用可
会報への広告掲載に割引料金 (1割引)を適用		○	○	○	○	○
会報による年2回の報告 (送付部数)		○ (1)	○ (1)	○ (3)	○ (5)	○ (5)
交流会(参加会)への 参加(実開催時人数)		1	1	2	2	2

法人賛助会員 特典

ステータス		ブロンズ	シルバー	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド
年会費(5万円単位)		5万円～	10万円～	30万円～	50万円～	100万円～
イベント参加 (年間のべ人数)	講演会	2	4	6	8	10
	土日公開 金曜天文講話	5	10	15	20	30
	星空観望会 宇宙落語会	3	5	8	10 団体利用可	15 団体利用可
財団ウェブサイトでの 企業名の表示とリンク		○	○	○	○	○
財団ウェブサイトへの ロゴ設置とリンク		—	—	—	○	○
会報への広告掲載		—	—	○	○	○
会報による年2回の報告 会報PDF公開(送付部数)		○ (5)	○ (10)	○ (15)	○ (20)	○ (30)
交流会(参加会)への 参加(実開催時人数)		1	2	3	4	5
柴田理事長の出前講演		—	—	○	○	○ 連続講義も可

年会費の区分の変更については理事会の承認を受ける。

イベントやイベントへの参加人数などについては実施状況に鑑み、理事長の承認のもと変更を行うことができる。